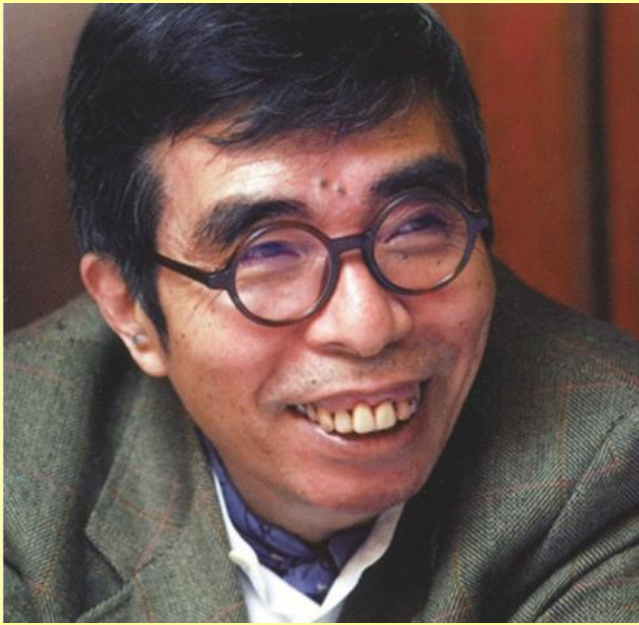


# 井上ひさし 没後十年記念事業



## 井上麻矢 講演会

井上ひさしが市川に遺したもの  
—演劇の力を信じて—

2020年4月9日(木)

14:00開演(13:30開場)

市川市文化会館 小ホール

### 講師：井上麻矢

(井上ひさし三女、劇団「こまつ座」代表取締役社長)

1967年、作家、劇作家の故・井上ひさしの三女として東京・柳橋に生まれる。千葉県市川市で育ち、御茶ノ水の文化学院高等部英語科に入学。在学中に渡仏し、パリで語学学校と陶器の絵付け学校に通う。

帰国後、スポーツニッポン新聞東京本社勤務。二女の出産を機に退職し、母として様々な職を経験する。その後、二期リゾートで二期倶楽部東京直営ギャラリーの企画を担当する傍ら、IFPA(英国)認定国際アロマセラピスト、フィジカルトレーナーとして活躍。

2009年4月こまつ座入社。同年7月より支配人、同年11月より代表取締役社長に就任。2014年市川市民芸術文化奨励賞受賞。

2015年、井上ひさしから語られた珠玉の言葉77をまとめた「夜中の電話—父・井上ひさし最後の言葉」と、自身が企画した松竹映画「母と暮せば」【第39回日本アカデミー賞優秀作品賞受賞】の小説版「小説 母と暮せば」(山田洋次監督と共著)を連続刊行。

2017年1月東京新聞朝刊「私の東京物語」連載コラム執筆(月～金 2週間 全10回)

2018年6月「女にとって夫とはなんだろうか」(西館好子氏と共著)を刊行。

こまつ座は2012年に第37回菊田一夫演劇賞特別賞、第47回紀伊屋演劇賞団体賞、フランコ・エンリケツ賞、2016年に『マンザナ、わが町』で第23回読売演劇大賞優秀作品賞、2017年に『きらめく星座』の成果により平成29年度(第72回)文化庁芸術祭演劇部門大賞(関東参加公演の部)を受賞。



1月5日(日)10:00～受付開始

【アクセス案内】

市川市文化会館 ☎047-379-5111  
市川市大和田1-1-5  
入場無料(要事前申込・定員400名)

JR総武線「本八幡」駅南口より徒歩10分  
都営新宿線「本八幡」駅A3出口より徒歩10分  
京成線八幡駅より徒歩15分

※ 未就学児のご入場、お車でのご来館はご遠慮ください。